便秘症治療薬の院内フォーミュラリ

2024年8月8日　宮崎地震発生(臨時情報発令)
2024年9月　南海トラフ地震を意識し薬品卸各社に情報共有

【便秘症治療の基本】
- **非刺激性下剤**を毎日適量内服
- 排便回数は2回/日～1回/日を目標に、便性を整えていく
- **刺激性下剤・外用薬**はオンデマンド治療として使用する

監修
消化器内科　島田友香里医長
薬剤部　前万紀子
初版　2021.9
改訂　2026.10

※（　）内は1日薬価
〈当院採用銘柄〉
2026.4時点

機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者 → ***消化器内科にコンサルト*** 

腎機能障害、年齢確認

右記条件以外

浸透圧性下剤

マグミット(¥50.4/2g)

高Mg血症：(血清Mg＞2.6mg/dL)
症状：嘔吐、徐脈、傾眠、筋力低下など

- 高Mg血症に注意
- 高齢者、腎機能障害患者、長期投与患者
  →定期的な血中Mg測定を推奨
- 相互作用に注意

効き目が穏やか
安価
臨床での使用経験が豊富

効果不十分

目安
マグミット
1.5g程度まで

下記薬剤と併用
または
下記薬剤への変更

eGFR＜30または**Cr＞1.5～2.0**
75歳以上の高齢者

モビコールLD
(¥118.6/2包)

現在限定出荷中のため
患者限定対応

調節しやすい
溶解後の味の好みに個人差あり
効果判定に時間を要する
特定の背景の患者がある場合は初回から選択可※保険上、他の下剤（OTCを含む）の使用歴が必要

水分分泌促進

アミティーザ 12μg
(¥186.4／4Cap)

- 1日2回食後1回2Cap
- 用量依存的に効果発揮
- 一包化○（30日間）
- 粉砕×
- 簡易懸濁○適1
  ※チューブフラッシュを推奨

※妊婦に禁忌
※投与初期に悪心（若年に多い）

若い人への使用は悪心に注意
悪心のリスクがある患者は少量から開始

水分分泌促進＋腹痛軽減

リンゼス錠 0.25mg
(¥57.8～115.6/1~2錠)

- 1日1回食前1回1～2錠
- 腹痛を改善
- 一包化、粉砕×
- 簡易懸濁○適1

※下痢を避けるために投与開始時は前治療を減量するか切替え
→可能な限り単剤投与へ移行

他剤で下痢を経験した患者は避ける
下痢しやすいため食前
効き過ぎの場合は減量又は休薬して低用量で再開

水分分泌促進＋蠕動運動亢進

グーフィス錠 5mg
(¥154.8／2錠)

- 1日1回食前1回2錠
- 腸の動きが悪い場合に使用可
- 一包化、粉砕○
- 簡易懸濁○適1

※重篤な肝障害に使用不可
※併用注意あり
(P糖タンパク質阻害作用)

肝障害時使用不可
ウルソ併用で効果減弱
胆嚢切除患者にも使用可
腹痛のある患者は避ける
便意の改善を期待できる

オンデマンド治療として使用

刺激性下剤：センノシド(¥5.5～11/錠)、**ピコスルファートナトリウム**(¥73/本)

外用薬：グリセリン浣腸液(¥118.5～166.50/個)、**新レシカルボン**(¥73.70/個)

備考）・オピオイド服用患者は**スインプロイク、アミティーザ**を推奨
・漢方薬はエビデンスレベル低いため除外した（大黄含有製剤は頓用で使用を推奨）

参考文献：添付文書,便通異常症診療ガイドライン 2023
IF、アミティーザカプセルの簡易懸濁による経鼻経管チューブを介した投与：医療薬学40(5)285-290(2014)